

集中豪雨や台風などによって水害や土砂災害などが発生するおそれがある時、どの情報をもとにどのタイミングで避難しますか？自分の住んでいる地域でいつ危険性が高まるのか、何をどう見て判断したらいいのか？防災情報の意味をしっかりと理解し、災害に備えておきましょう。

風水害から命を守る「備え」

台風や大雨による災害は各地に大きな被害をもたらします。気象情報はテレビやラジオ、スマートフォンなどで数日前から予報を確認できるので、台風の進路や大雨情報など防災気象情報を収集することが自身の安全を守るためにとても大切です。早め対策を講じることで風水害による被害を軽減することができます。

日頃の備え

ハザードマップや浸水想定区域など危険な箇所を確認し、避難場所や避難経路を家族などで共有しておく



家の中では窓ガラスの飛散防止、停電・断水時のための備蓄、非常持ち出し品の確認をしておきましょう。



気象・防災情報を確認！

気象や避難に役立つ情報をすぐに入手できるよう、情報源となるインターネットサイトの確認やアプリの操作方法など予習をしておきましょう。

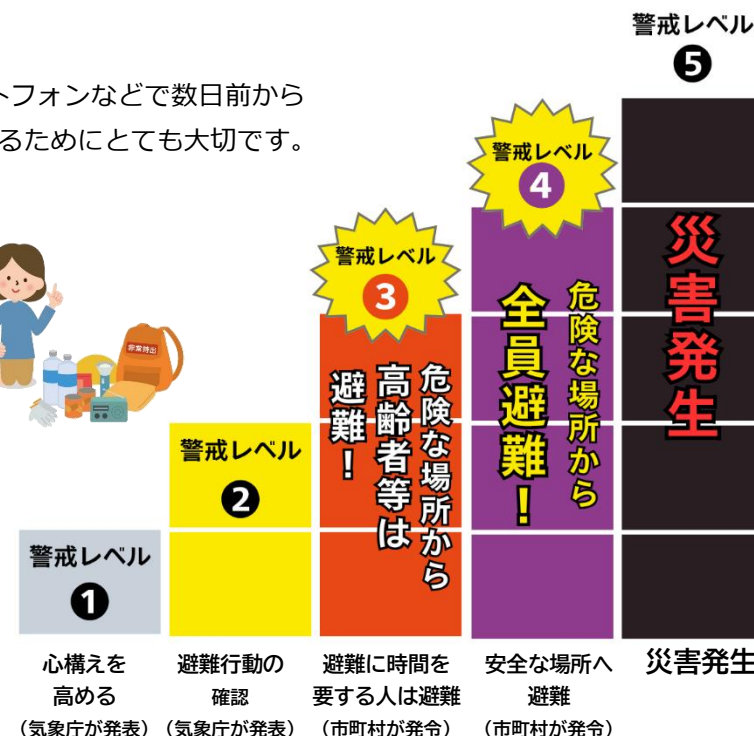


防災ラジオ、県や市のホームページ、メール配信サービス、SNSなどで防災情報を確認し危険が迫る前に避難しましょう。



スマホの緊急速報をオンに！

緊急地震速報や災害・避難情報などの速報をスマホですぐ受信できるように設定しておくことをおすすめします。



【警戒レベル5】(市町村が発令)はすでに災害が発生・切迫している状況です。

令和 8 年 5 月 29 日より気象の警報などが大きく変わりました！

- ・警報・注意報の情報名に「レベル」が追記されます。
- ・河川の氾濫の危険度の伝え方が変わりました。
- ・「警報レベル 4 相当」の情報は「危険情報」として発表されます。



もしもに備える！



防災用品



災害はいつ起こるかわかりません！日頃から**非常持出品**や**非常備蓄品**などを準備したり**ハザードマップ**でお住まいの周辺地域の避難所や危険エリアの確認をしておきましょう！
避難場所別の役立つグッズや防災用品などをご紹介します。

リュックに入れて玄関近くに置く

移動時や避難所への持ち出し用品

【すぐに必要なもの】

- ☑ 懐中電灯
- ☑ 予備の電池、携帯充電器
- ☑ ヘルメットや防災頭巾
- ☑ マスク、軍手
- ☑ ホイッスル
- ☑ 緊急連絡先をまとめたノ



【貴重品】

- ☑ 現金(10円や100円硬貨を含む)
- ☑ 預金通帳と印鑑
- ☑ マイナンバーカード
- ☑ 運転免許証



【応急医薬品】

- ☑ 絆創膏、包帯、消毒薬など
- ☑ 風邪薬、解熱剤、胃薬などの常備薬
- ☑ 持病の薬など
- ☑ 家族に合わせて子供用の薬、おむつ、生理用品など



【食品・飲料水】

- ☑ 非常食(缶詰など調理不要なもの)
- ☑ 飲料水(ペットボトルで用意)



【生活用品】

- ☑ 下着、靴下などの衣類
- ☑ マスク、軍手などの予備
- ☑ タオル
- ☑ ティッシュ、ウェットティッシュ
- ☑ 紙の食器、紙コップ、割り箸
- ☑ ビニール袋
- ☑ ライター、マッチ、ろうそく



【寒さから身を守る】

- ☑ 防寒用ジャケット
- ☑ 雨具、長靴
- ☑ カイロなど



非常備蓄品(自宅や避難所での生活を支えるもの)

日用品と一緒に分散収納する

- ☑ 飲料水、生活用水
- ☑ 非常食(フリーズドライ、レトルト、缶詰など)
- ☑ 体拭き専用ウェットタオル
- ☑ マスク、ポリ袋、トイレトペーパー
- ☑ 携帯ラジオ、電池

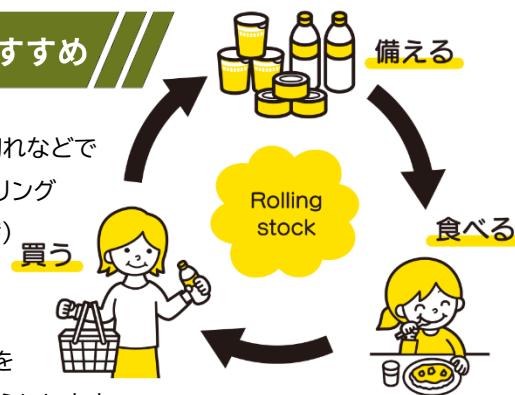


ローリングストックのすすめ

備蓄していた食品が賞味期限切れなどで廃棄してしまわないようローリング(回転)させながらストック(備蓄)する方法をご紹介します。

食品の備蓄の目安は最低でも家族人数分×3日分です。それを月に一度食べては足していくようにします。

そうすると3年～5年といった長期の賞味期限の食品を選ぶ必要がなく、食品の選択の幅が広がります。飲料水の備蓄も同様で定期的に料理などに使っていくことで備蓄している物を循環させていきましょう。



お住まいの防災対策や防災グッズの購入など防災に関するご相談はベンリー秋田大町店へおまかせください

ベンリー秋田大町店 0120-232-988

